

脳神経外科・脊椎脊髄センターを受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	脳神経外科、脊椎脊髄センター
研究責任者	(職名)教授 (氏名)原政人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	研究主施設責任者：東北大学大学院 医学系研究科 神経外科学分野 講師 遠藤俊毅
研究の意義・目的	脊髄髄内腫瘍は治療方法が確立しておらず予後不良です。そこで、本研究では、東北大学病院をはじめとする全国多施設の症例治療経験を集約し、稀少疾患である脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明を目的とします。
対象となる患者さん	2009年4月から2020年3月までの間に当院で手術治療を受け、脊髄髄内腫瘍と診断された方
研究の方法	本研究は、日本脊髄外科学会公認の多施設共同研究です。脊髄髄内腫瘍症例について、共同研究機関からデータを収集し統計解析を行います。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報の保護及び研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
研究期間	倫理審査承認日～2023年3月31日
研究に用いる試料・情報	患者さんの年齢・性別・合併症(既往歴)・内服薬・発症形式・発症年月日・初診年月日・初診時神経学的所見・画像所見・入院年月日・手術年月日・手術所見・治療内容・入院時臨床経過・退院年月日・退院時所見・外来経過・最終予後といった情報を用います。
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、匿名化したうえで、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	情報が当研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは

	ありません。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 脳神経外科学講座 担当者:(職名)講師 (氏名)青山正寛 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22138)